

競技注意事項

- 1 本大会は、2025年(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。
- 2 練習については公開練習要領を参照の上、指定区域内で行うこと。その他審判員・競技役員の指示に従うこと。
- 3 競技者の招集について

- (1) 招集場所は競技場管理棟裏 公園内通路に設ける。場所は会場図を確認すること。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、原則下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前	棒 高 跳	70分前	60分前
フィールド競技	40分前	30分前	男子円盤投	50分前	40分前

詳細は競技日程をよく確認すること。

- (3) 招集方法

ア 競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集完了時刻には各競技場所への移動を開始する。

イ 招集所での点呼に不在だった競技者については、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

ウ 競技者係に備えているものは、次の通りとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	競技者係	招集開始時刻まで
2	多種目同時出場届		第1種目の招集開始時刻まで

オ 代理人による招集の最終確認は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、該当競技の最初の種目の招集開始時刻までに多種目同時出場届に必要な事項を記入し、招集所(競技者係)に提出すること。

- 4 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は、係員の誘導に従い規律ある行動をすること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。
- (2) フィールド競技者の退場については、当該競技役員・マーシャルの指示に従う。
- (3) 競技場内には、映像機器やミュージックプレーヤー、またスマートフォン等の通信機器を持ち込むことは出来ない。また、練習器具も持ち込むことは出来ない。

- 5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、交付された大きさのまま使用し、必ずユニフォームの胸背に確実に付けること。(原則1枚につき、4か所を止める)ただし、跳躍競技については胸・背のいずれかでよい。
- (2) トラック競技出場者は腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツ右側後方に番号が見えるように付けること。

- 6 走路順・競技順について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及び走路順は、番組編成員により決定する。

- 7 同タイムでのプラス進出者確定について

タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を判定する。【TR21.5】

ただし、同成績(0.001秒単位まで同じ)となった場合は以下のとおりとする。

(ア) 空きレーンがある場合は対象者全員が次のラウンドへ進出する。

(イ) 空きレーンがない場合は同成績者または代理人によって抽選する。アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。

- 8 競技について

- (1) 事故防止のため短距離競技のフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走り安全に減速すること。
- (2) TR5.2に違反するシューズでの出場は認めない。
- (3) 競技場内での助力は一切禁止する。コーチングエリアから助言を与える場合はマーシャルか該当種目の競技役員の指示に従い、競技運営や他の競技者の妨げにならないように注意すること。

- (4) コーチングエリアでの映像機器の取り扱いについてはTR6.4.5を遵守すること。
- (5) 競技者の服装はチームの定めたユニフォームを着用し、清潔を旨とし不体裁にならないこと。
- (6) 三段跳について、踏切板は砂場から、男子9mと11m、女子7mと9m地点に設置する。
またトップ8後の試技もそれまでと同じピットで残りの3本試技をする。
- (7) 警告及び失格についてはTR7を適用する。
- (8) ジャベリックスロー及び円盤投においては、計測ラインを設ける。
ジャベリックスロー：男子 40m00, 女子 27m00 未満は、計測しない
円盤投：男子23m00、女子18m00 未満は、計測しない

9 抗議と上訴について(TR8)

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、各地区専門委員長(又は代理人)により、その種目から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者は担当総務員に申し出ること。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、当該地区専門委員長により、結果が正式発表されてから「上訴申立書」と「預託金10,000円」を担当総務員を通してジュリーに提出しなければならない。
なお、「上訴申立書」の提出時刻は、その種目の結果が変更されていない場合は正式発表から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更された場合は抗議者に対して、その旨が通告されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

10 バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以降3cmきざみ
女子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m48			以降3cmきざみ
男子棒高跳	2m90 3m40 3m90	3m00	3m20	3m40	3m60	3m70	以降10cmきざみ
女子棒高跳	1m90 2m40 2m90	2m00	2m10				以降10cmきざみ

- (2) 走高跳・棒高跳で第1位を決める場合の上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- (3) 棒高跳はU16標準記録以降は5cm単位とする。(男子4m10、女子3m00)

11 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用する。

12 フィールド競技

- (1) 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従う。
- (2) 競技者は審判員の許可を得ることなく、勝手に競技場所を離れることはできない。【TR25.19】
- (3) 競技者・監督・コーチといえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることはできない。フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチングエリア」を設ける。このエリアから監督・コーチのみが競技者への助言を行うことができる。競技者に対してビデオ等の映像を見せることや画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしても良い。【TR6.4.5】
- (4) 審判長が認めた場合、帽子、靴、衣類、水、氷など該当審判員を通して渡すことができる。【TR6.4.6】
- (5) 砲丸投で回転投法の競技者は投擲審判員に申し出ること。
- (6) トップ8に残れなかった者は、競技役員の指示に従い最寄りのゲートより退場する。

13 表彰は各種目の決勝終了後ただちに行うので、入賞者は担当役員の指示に従い本部棟1階に移動する。

3位までは競技場外側正面で表彰をし、4位以下は競技場正面テントで各自賞状を受け取る。

14 スタート前に脱いだ衣類の運搬は行わない。所定の場所に置か、各校・各チーム(監督)の責任において引き取ること。

15 トラック競技の出場者は、ゴール後そのままバックストレートを通り、スタート地点で荷物を回収後、速やかに競技場外に出ること。付き添い等はゴール付近のテントエリアに入らないこと。

16 競技場内の正面スタンド前(本部席前)は選手の通行を禁止とする。

17 ケガや体調不良に関しては、応急措置のみ行う。